

はじめに

ここに「ふるさと宮前」を発刊することができたことは、私にとりましても一つ夢がかなない大きな喜びとなりました。

「熟田津に 船乗りせむと 月待てば 潮もかなひぬ 今は漕ぎ出でな」

額田王が詠んだこの歌は万葉集に収められています。昔から、熟田津はいつたいどこなのだろうかと場所についての研究には諸説があります。その中で、古三津は有力な候補地の一つです。私たちのふるさとは、古代のロマンを想い、夢をかき立てる場所なのです。本校の玄関横にもこの歌の石碑があり、昨年も横浜から写真を撮りにこられた方もいました。

私たちは、今このようにすばらしい土地で生活をしています。この宮前校区には、たくさんの歴史や伝統が今も残り息づいています。虎舞や伊予源之丞などの伝統芸能、藤原純友館跡や刈屋畑の戦いの史跡など多くのものがあります。人々はそれらを、昔から現在まで絶えることなく、受け継ぎ大切に守ってきたのです。

学校でも子どもたちが、地域に出かけ体験的な学習を行うことが多くなりました。そうした機会を利用してふるさとについて学び、ふるさを愛する子どもに育ててほしいと思っていました。そのためには、校区についてわかりやすくまとめた本があると便利だなと考えていました。そんな折、宮前文化遺跡を守る会とご縁ができました。

私たち教職員は、宮前文化遺跡を守る会の中西 智会長さんをはじめ世話人の皆さんにご案内いただき、22年1月8日に古三津コース、22年7月26日に中須賀・辰巳コースの史跡見学をしました。6年生も総合的な学習の時間や歴史学習で、お話を伺ったり、現地で説明していただいたりしました。

また、この冊子は宮前文化遺跡を守る会の皆さんが丹念に調査された成果をもとに、教職員が地域を歩き、写真を撮り、子どもたちにも分かるように文章を書き直し、親子で一緒にふるさと巡りをしていただけたらと思い、まとめたものです。

宮前文化遺跡を守る会森田和照事務局長さんには「ふるさと宮前」の完成まで原稿に丁寧に目を通していただき、有益なアドバイスをたくさんいただきました。本当にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

平成 23 年 1 月 21 日

松山市立宮前小学校長 清 水 昇